

公益社団法人 全国病院理学療法協会

広 報

平成28年7月15日 第225号

目 次

平成28年度 地方会代表者会議（要旨）……………	1
第57回 定時代議員総会 議事録（抄）……………	4
平成28年度 臨時理事会 議事録（抄）……………	7
正味財産増減計算書……………	8
貸借対照表……………	10
平成27年度 監査報告書……………	11
平成28年度 役員職務分掌及び情報収集等に係る役割分担表…	12
平成28年度 公益社団法人 全国病院理学療法協会 組織機構…	14
平成28年度 協会主要会議及び地方学会等の年度計画表……	15
諸会議及び役員渉外行動報告……………	16
本部発信文書一覧……………	17
第66回 日本理学療法学会 開催案内……………	18
平成28年度 認定訪問マッサージ師講習会 開催案内……	19

平成 28 年度 地方会代表者会議 (要旨)

日 時 平成28年5月27日(金)9:30~10:30
場 所 静岡市東部勤労者福祉センター(清水テルサ)
出席者 理 事 平野五十男・柳澤 貞男
三宅健一郎・小川 嗣人
佐藤 功・小田木宏江
青柳 利之・木村 重人
米谷 勝行・大場 栄悦
蟹谷 泰郎・可知 謙三
丹羽つとむ・川口 清宣
津田 敏彦・多田 浩幸
監 事 大塚 正廣・中川 保
相談役 倉石 健二・猪野塚孝徳
地方会執行委員長

小路口 憲 (北海道)
菊池 武彦 (東北)
杉浦 幹雄 (関東甲信越)
蟹谷 泰郎 (北陸)
加藤 尚浩 (中部)
町井 修治 (近畿)
川口 清宣 (中国)
石川 啓一 (四国)
西口 政男 (九州)

欠席者 菊田 京一 監事・龍澤 良忠 相談役
司 会 柳澤事務局長

1. 各地方会の現状と課題

小路口 (北海道)

昨年度創立 65 周年を迎えた。非常に範囲の広い地域が一地方会で、代表者が 1 名ということに不公平感がある。

会計において、地方会単位で収支できるようになることを望む。

菊池 (東北)

会員数も財政も一層厳しい状況にある。一地方会として活動するにあたり、最低限必要な財源は、協会の役割として考慮していただきたい。

全体をみて、余裕のある地方会からの

交付等も考慮していただきたい。

各支部の公印は、以前と同様に本部一括作製を希望する。

杉浦 (関東甲信越)

組織改革で地方会主体に切り替えられているが、100 名近くの会員数を持つ支部が複数あり、支部の自主性を尊重しつつ地方会としてどのように活動すべきか検討中である。

加藤 (中部)

今年度より静岡県支部が関東甲信越地方会に転属となり、岐阜、愛知、三重の 3 支部となった。

会費の未納者対策の厳格化、財務と組織の会員管理システムの統一化を図っていききたい。

蟹谷 (北陸)

地方会及び支部の重要な役員が、病気などで会務に支障をきたし、年々、会員が減少していることが課題となっている。

町井 (近畿)

ここ数年で多くの退会者があり、百数十名の支部から 10 名前後の支部までである。今回の定款改正により会員数が少ない支部を支援して、地方会全体で事業を行う趣旨となっており定款改正に賛同した。

規約が変わって支部における事務作業が多くなり、何が変わったのかよく解らない。その中で、入退会、休会、会友について明確に示していただきたい。

川口 (中国)

人間関係の構築などいろいろな手段により組織の拡充を図っており、その一環で「あはき師、柔整師」養成校の学生を準会員とし、卒業後は会員になるようなことも取り入れてよいのではと考えている。

石川（四国）

会員の減少が急激に進んでおり、退会処理に追われた年度であった。その中で、退会・休会処理をするとき、会員に提示できる文書等が必要と感じた。地方学会など会員数減少と財源を考え、会員にアンケート調査を行っている。

2. 本部の回答

佐藤情報管理局長

会費未納者対策について、今年度の会費納入状況（5月21日現在）を報告し、平成25・26・27年度未納者リストを配布して地方会、支部未納者に対する会費納入の協力をお願いした。

また、JCBカードの手続きを行ったにも関わらず、引き落とされないケース及び、退会した方から引き落とししたケースが発生したため、当該者にお詫びをした。青柳保険局長

日本医師会が各医療機関に提供する（いわゆる白本）から抜粋した平成28年度診療報酬改定の資料について説明。

柳澤事務局長

組織と財務の流れの連携について組織局長の意見は…。

木村組織局長

退会届けの問題については、支部長を通さず直接本部へ提出したことが原因と考えられることから、再発防止策を至急検討する。

退会届けを協会ホームページからダウンロードできることを再考する必要性がある。休会、会友届けは理事会の承認事項であり、現状を踏まえ検討する必要性がある。

組織と財務の連携については、今まで個々であったが、これからは組織局のデータを基本として行う。

平野会長

本日より定款が改正されることから、今までは入退会、休会については所属支部で行われていたが、定款細則第2条によってこれらは総て地方会で行われ、本部に報告することとなったのでご承知おき下さい。

杉浦（関東甲信越）

東京都支部で入会届けの提出があっても会費納入を確認できないケースがある。また、JCB導入により会費納入方法が変わり、会費未納のまま支部に残って会費納入にタイムラグが生じるなど判らないことがあり、入退会の手続きを一元的に管理して支部、地方会に伝えられるよう改善してほしい。

小田木財務局長

基本的には地方会に帰属するものだが、必要があれば対応したい。平成25・26・27年度については、5月末から6月初めに、各個人宛てに督促の処理を行う。平成28年度の会費納入状況の調査を基に組織との連携を図りながら8月頃をめどに会費納入のお願いを各個人宛てに通知したい。

杉浦（関東甲信越）

是非、支部にも流して欲しい。会長から新定款の説明があったが、急に会員管理や公印の管理など全部は出来ない。

平野会長

会長は定款、定款細則を遵守して運営する立場なのでこれからも進めてゆくが、急に変更するのが無理ならば猶予をおいても良いと思う。

小田木財務局長

公益法人に移行する作業で会費納入状況について個人管理が出来ていなかったようで、退会の確認をして平成24年度までは除外して会計処理をした。今年度

も未収の除外を行い適正に会計処理をしている。

木村組織局長

今年から入退会は、毎月、月末に各地方会の執行委員長宛てにメールで送信していきたい。

町井（近畿）

処理するのが支部なので支部に返してやらないといけないのではないか

杉浦（関東甲信越）

入退会を地方会で行うとなれば、各支部の会員クラウドが見られるようにしていきたい。また、各支部への連絡を正規のシステムにしていかないと問題が生じるので良く考えて欲しい。

柳澤事務局長

今回、初めての試みで北海道は5支部、関東甲信越は11支部の大きな組織となり大変と思う。お金の問題については会員減少と会費未納者減少を早急に考え、組織についても今後2年間かけて問題点を整理しマニュアル化する必要がある

と思う。地域ごとの活動で会員の増加、会計処理の適正化を図っていきたい。

ここで九州会会長が見えましたので挨拶と実情を報告していただきたい。

西口（九州）

現在、九州会は大変な状況にあり、執行委員長を中心に各支部長をまとめ、理事の協力も得てもっと内容のある九州会を目指したい。

柳澤事務局長

支部長の公印が欲しいとの要望に対しては、本部で作製して各支部に送付する。

小田木財務局長

今期から3ヶ月毎に決算ファイルを各支部、各学会等に送付する。もし、お金を使っていない支部があれば地方会執行委員長に提出して、まとめたものを今までどおり返送していただきたい。

質問及び要望が、定時代議員総会と重複する内容は、予め割愛しています。

第 57 回 定時代議員総会 議事録 (抄)

日 時 平成28年5月27日(金)11:00~16:10
場 所 静岡市東部勤労者福祉センター(清水テルサ)
議 長 石川 啓一代議員(四国地方会・愛媛県支部)
町井 修治代議員(近畿地方会・大阪府支部)
書 記 倉石 健二 相談役
蟹谷 泰郎 理事
定足数確認 代議員定数 23、出席代議員 23 で、
第 57 回定時代議員総会の成立を
宣言。また、今年度より定時代議
員総会オブザーバー規程に従い、
7名のオブザーバー参加を報告

第 1 号議案 平成 27 年度 事業報告

三 重

診療報酬改定に係る要望で、疾患別リハビリテーション料の格差是正が重要視されているが、我々の本来の職域である手技療法(消炎鎮痛処置)の要望を強力に行うべきではなかったのか。

青柳保険局長

技能認定登録者が行う消炎鎮痛処置については、以前より要望しているが、手技療法のエビデンスを求められており、現段階では評価されていない。

長 野

リンパ浮腫管理料の算定要員にマッサージ師が加わっているが、「事前指示と事後報告」の職種に看護師が明記されている。本部では、その理由を把握しているのか。

青柳保険局長

正確に把握していないが、リンパドレナージは、医療機関及び在宅において看護師が非常に多く関わっている分野のため、看護師の「事前指示と事後報告」が明記されたと推測している。

愛 知

厚生労働省幹部への要望活動に際し、事前に全理事へ周知し、万全の準備と対策を講じるべきではなかったか。

青柳保険局長

厚生労働省及び関連団体等に対し、診療報酬改定に係る要望活動を行うことは、平成 27 年度の事業計画でお示ししており、

その一環であると認識している。

奈 良

福祉用具専門相談員の適格講習について、平成 18 年以降の受講者には受講料を返金したが、それ以前の受講者にはどのように対応するのか。可知理事の説明を求めたい。

青柳保険局長 平成 18 年度以前の扱いについては、返金に応じるという対応は講じていない。

可知理事

平成 12 年度から、会員に対し「福祉用具専門相談員の資格で仕事ができる。」と説明してきたが、結果的に多く受講者が、それに至らなかったことを理事会で確認し、昨年度協会のホームページで周知した。

これは、福祉用具専門相談員の適格講習としての届出を協会が行っていなかったこと、所管が平成 18 年度より国から都道府県に移管され、それまでの適格講習に公示が必要となったことによる。この結果は、厚労省が協会に対し、適切な対応を行わなかったことに起因するものである。受講者の請求権は尊重されるが、今後は国に対し「会員の声」として伝えていくことで理解をいただきたい。

愛知・千葉

協会の組織力を把握する目的で行われたアンケートについて、内容や期限などに不備があったため、回収率が極めて低かったのではないか。

平野会長

アンケートは、診療報酬改定に係る要望でエビデンスを集積するにあたり、会員の勤務実態を明らかにしたうえで、平成 28 年度事業計画立案の資料にすることも主な目的で実施した。調査の内容、方法を再考したいと考えている。また、北海道支部で同様のアンケートを行い、一定の回収率があったとの情報があるため、是非参考にしたい。

北海道

マッサージ師が診療報酬の場で高い評価

を得られるようにすることは大命題である。あはき等法推進協議会で、あはき法の改定に向けた検討、準備を行っているようだが、詳細をお聞きしたい。

三宅副会長

平成 29 年度を目途に法改正を目指し準備を進めており、本協会も委員の立場で協議に応じているが、現段階では何も決まっていない。

また、あはき法の改正に係る協議は、あはき等法推進協議会に加盟する 7 団体すべてが合意しなければならないこととなっており、今後課題になる可能性がある。

賛成多数で承認。

第 2 号議案 収支決算報告及び監査報告

新 潟

会員数の減少で会費収入が多く望めないため、課題講習会の受講料等を見直し、経費に充当できるようにすべきではないか。

また、今後も会員が勤務する職場環境や高齢化等が原因で、協会が危機的状況に陥る可能性も考えられるが、本部はどう受け止めているのか。

小田木財務局長

講習会の会費を見直す前段階として、財務局では会費未納の回収と今後未納者を出さない対策を講じたいと考えている。協会の将来が危惧されていることは、本部も危機感を感じている。しかし、会員数や財源が少なくなった時の創意工夫が最も大事なため、引き続き一生懸命対応して行きたい。

愛 知

昨年、鹿児島県支部が複数年にわたって多額の会費が納入されていないことで問題になっていたが、監査報告書に何ら記載されていないのは何故か。その後の処分はどうなったのか、監事に伺いたい。

平野会長

鹿児島県支部の未納金は、昨年度全額納入されている。この案件の当事者である会員は深謝し、今後も会員として留まりたいと述べているため、協会内では不問とし、理事会でも「この案件の処理内容を前例にしない。」との付帯事項とともにコンセンサスを得ている。

大塚監事

流用金を返納すれば良しとはいえない。事の重大性を鑑みこの案件が悪しき前例になってはいけない。当事者本人の猛省を望むものです。

岩 手

昨年度より、JCB カードによる会費納入が開始され、カード導入により効果は現れているのか。

小田木財務局長

会費の未納者が、全体で三分の一に減少した。会費納入の手間も含め、カードを導入したメリットがあったと考えており、今後も加入を更に推し進めて行きたい。

全会一致で承認

第 3 号議案 表彰に関する承認

1. 栄誉賞 対象者なし
2. 学会長・準備委員長表彰

第 64 回 日本理学療法学会

学 会 長 津田 敏彦 氏
準備委員長 石川 啓一 氏

3. 特別感謝状

横田 謙二 氏 (茨城県)
園田 和之 氏 (福岡県)

第 4 号議案 第 66 回 日本理学療法学会 学会長・準備委員長の承認

学 会 長 丹羽つとむ 氏
準備委員長 町井 修治 氏

第 5 号議案 第 67 回 日本理学療法学会 開催地の決定

関東甲信越地方会 埼玉県支部

第 6 号議案 名誉会員推挙の承認

龍澤 良忠 氏 (相談役・前会長)

第 3 号議案～第 6 号議案、全会一致で承認

第 7 号議案 役員改選

大村役員改選管理委員長より投票について説明があり、代議員総会の休憩時に理事及び監事の改選が行われ、引き続き大場理事、川口理事の立会いのもと厳正に開票を行い、大村委員長より結果が報告された。

投票結果

理事（投票総数 23 票 有効投票数 21 票）
小川嗣人 21 小田木宏江 21 可知謙三 17
三宅健一郎 17 木村重人 17 丹羽つとむ 17
米谷勝行 16 津田敏彦 16 平野五十男 13
柳澤貞男 13 佐藤 功 13 多田浩幸 11
青柳利之 10

投票で過半数に達しない候補者が 2 名出たので、定款に従い再投票を行ったが、2 名とも過半数の信任を得られず、定数 12 名までとあるが 11 名とした。

監事 投票結果（投票総数 23 票 有効票数 23 票）

菊田京一 23 中川保 23 大塚正廣 22

開票報告後、臨時理事会が開催され、定款第 22 条 3 項により会長選出に入り、上位当選者の考え方や推薦をもとに平野現会長が再選され、柳澤、三宅両副会長、佐藤、小川の 4 名が業務執行理事として選任された。

また、相談役として、倉石健二、猪野塚孝徳、大場栄悦の 3 名が選任された。

報告事項

平成 28 年度 基本姿勢及び事業計画

平成 28 年度 収支予算書

その他

千葉

指導者講習会の規程で、受講者数は概ね代議員数と定めているが、各支部で平等に伝達講習ができるよう、現状の受講者数を維持すべきではないか。

また、技能講習会を年度の前半で開催することを検討しているようだが、受講者の募集、後援申請など、準備に大きく支障をきたすため、現状どおり開催を要望する。
柳澤事務局長

昨年の指導者講習会は 40 名程受講され、今年度も同様の受講者を想定している。伝達講習会は、複数支部で合同開催するなど、工夫が必要ではないか。

技能講習会については、今後 2 年で検討すると理事会で決定したので、多数意見を

聞かせていただきたい。

北海道

会員の多くは運動器の領域で仕事をしているが、指導者講習会を今後企画するうえでの、基本方針を聞かせて欲しい。

小川学術局長

特に基本方針を定めてはいない。これまで幅広い観点でテーマを設定してきているため、今後も一定のテーマに偏らないよう企画して行きたい。

長野・茨城

会員の休会申請について、休会できる具体的な理由と、休会届を他の申請書類と同じく、協会ホームページからダウンロードできるようにならないか。また、休会が複数年度に渡った場合の取り扱いはどうなのか。

木村組織局長

休会は、病気、産休、育休、災害などに限定され、理事会で承認を受けることとされている。申請書のダウンロードについては今後検討する。

平野会長

休会届けは、年度ごとに提出するように定款で決められているが、一回提出すれば、継続できるものと考えている地方会があるので改めていただきたい。

大阪

今後の診療報酬改定における要望について、より具体的な方法を示してください。

平野会長・青柳保険局長

次期改定は平成 30 年度であるため、遅くとも 29 年度の夏には、厚生労働省へ技能認定登録者が行う治療の効果をデータで提出できるよう準備しなければならない。そのためには、今年度前半で「誰が何をやるか」を決めて準備を行い、後半で実績を集積し、29 年度当初でデータを取りまとめなければならないと考えている。しかし、協会内では、困難な作業になることが予測されるため、関連団体などに協力を求めたいと考えている。

他、地方会からも多くの質問、意見が出されたが、広報編集上の都合により割愛させていただきました。

広報局長 三宅 健一郎

平成 28 年度 臨時理事会議事録

日 時 平成28年5月27日(金)14:40～15:00
場 所 東部勤労者福祉センター(清水テルサ)控室
出席者 理 事 平野五十男・柳澤 貞男
三宅健一郎・小川 嗣人
佐藤 功・小田木宏江
丹羽つとむ・木村 重人
米谷 勝行・可知 謙三
津田 敏彦
監 事 大塚 正廣・菊田 京一
中川 保

選挙立会人の大場栄悦(前理事)が仮議長となり、定款第34条に規定する定足数に達したことを確認した後、開会を宣言し議事に入った。

議 題

1. 代表理事選任の件

代議員総会における役員選挙の結果を参

考に審議の結果、理事全員の賛成で、平野五十男を代表理事に選任した。

平野五十男理事は、その場で代表理事への就任を承諾した。

2. 業務執行理事選任の件

平野五十男代表理事が議長となり、審議の結果、柳澤貞男理事、三宅健一郎理事、佐藤功理事、小川嗣人理事の4名を、理事全員の賛成で業務執行理事に選任した。

このうち柳澤貞男理事と三宅健一郎理事を副会長に選任した。

被選任者は、その場で業務執行理事への就任を承諾した。

3. 相談役選任の件

平野五十男代表理事の推薦を参考に審議の結果、倉石健二氏、猪野塚孝徳氏、大場栄悦氏を理事全員の賛成で相談役に選任した。

以 上

平成 28 年度 臨時理事会議事録

日 時 平成28年5月28日(土)15:00～15:15
場 所 静岡市清水文化会館(マリナート)控室
出席者 理 事 平野五十男・柳澤 貞男
三宅健一郎・小川 嗣人
佐藤 功・小田木宏江
丹羽つとむ・木村 重人
米谷 勝行・可知 謙三
津田 敏彦
監 事 大塚 正廣・菊田 京一
中川 保

議 題 役員職務分掌について

平野会長より、平成28年度の役員職務分掌について提案があり、事業運営等について

の質問が出され、協議後、了承された。

会 長	平野五十男	
副会長	柳澤 貞男	事務局長
副会長	三宅健一郎	広報局長
常任理事	小川 嗣人	学術局長(医療出版部長)
常任理事	佐藤 功	情報管理局长
理事	小田木宏江	財務局長
理事	木村 重人	組織局長
理事	丹羽つとむ	保険局長
理事	津田 敏彦	学術局次長(教育・研究部長)
理事	可知 謙三	調査・組織充実部長
理事	米谷 勝行	調査・組織充実部次長

以 上

正味財産増減計算書

平成27年4月1日から平成28年3月31日まで

公益社団法人 全国病院理学療法協会

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 特定資産運用益	13,664	31,586	△ 17,922
② 受取入金	201,000	119,000	82,000
③ 受取会費 正会員受取会費	34,620,000	39,860,000	△ 5,240,000
④ 事業収益			
学会事業収益	3,317,500	3,287,750	29,750
講習会事業収益	11,713,500	10,316,500	1,397,000
技能認定登録事業収益	1,995,000	2,015,000	△ 20,000
⑤ 受取補助金	810,000	0	810,000
⑥ 受取寄付金	15,000	45,000	△ 30,000
⑦ 雑収益			
広告料収益	549,784	280,000	269,784
雑収益	1,065,124	514,096	551,028
経常収益計	54,300,572	56,468,932	△ 2,168,360
(2) 経常費用			
① 事業費			
役員報酬	900,000	900,000	0
給料手当	836,534	801,784	34,750
福利厚生費	0	0	0
旅費交通費	14,096,459	16,104,244	△ 2,007,785
通信運搬費	2,547,621	3,023,390	△ 475,769
減価償却費	254,406	285,385	△ 30,979
消耗品費	2,783,567	2,417,462	366,105
修繕費	165,638	4,500	161,138
印刷製本費	8,767,258	5,841,606	2,925,652
光熱水料費	135,973	154,567	△ 18,594
賃貸借料	3,631,161	1,981,553	1,649,608
保険料	3,000	0	3,000
諸謝金	7,077,661	7,895,912	△ 818,251
租税公課	66,300	67,425	△ 1,125
支払負担金	160,000	105,400	54,600
雑事業費計	1,370,754	5,147,914	△ 3,777,160
事業費計	42,796,332	44,731,142	△ 1,934,810

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
② 管 理 費			
役 員 報 酬	300,000	300,000	0
給 料 手 当	278,844	267,261	11,583
福 利 厚 生 費	0	0	0
会 議 費	1,163,942	1,202,152	△ 38,210
旅 費 交 通 費	4,698,819	5,368,081	△ 669,262
通 信 運 搬 費	849,207	1,007,796	△ 158,589
消 耗 品 費	927,855	805,820	122,035
修 繕 費	453,319	333,000	120,319
印 刷 製 本 費	2,087,737	3,112,933	△ 1,025,196
光 熱 水 料	45,324	51,522	△ 6,198
賃 借 料	852,349	935,659	△ 83,310
保 險 料	0	0	0
諸 謝 金	53,526	20,000	33,526
租 税 公 課	22,100	22,475	△ 375
支 払 負 担 金	0	46,340	△ 46,340
雑 費	4,943,830	4,826,216	117,614
減 価 償 却 費	84,801	95,127	△ 10,326
管理費計	16,761,653	18,394,382	△ 1,632,729
経常費用計	59,557,985	63,125,524	△ 3,567,539
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 5,257,413	△ 6,656,592	1,399,179
基本財産評価損益等	0	0	0
特定資産評価損益等	0	0	0
投資有価証券評価損益等	0	0	0
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 5,257,413	△ 6,656,592	1,399,179
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益	0	0	0
(2) 経常外費用 前期損益修正損	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 5,257,413	△ 6,656,592	1,399,179
一般正味財産期首残高	73,287,235	79,943,827	△ 6,656,592
一般正味財産期末残高	68,029,822	73,287,235	△ 5,257,413
II 指定正味財産増減の部			
1 増加の部 受 取 利 息	585	585	0
2 減少の部	0	0	0
当期指定正味財産増減額	585	585	0
指定正味財産期首残高	2,343,159	2,342,574	585
指定正味財産期末残高	2,343,744	2,343,159	585
III 正味財産期末残高	70,373,566	75,630,394	△ 5,256,828

貸借対照表

平成28年3月31日現在

公益社団法人 全国病院理学療法協会

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	4,304,076	7,117,763	△ 2,813,687
未収会費	5,911,000	7,911,000	△ 2,000,000
前渡金	58,845	0	58,845
流動資産合計	10,273,921	15,028,763	△ 4,754,842
2 固定資産			
(1) 特定資産			
高木賞等基金	2,343,744	2,343,159	585
記念学会基金	2,501,875	2,501,750	125
公益事業基金	39,023,274	39,017,262	6,012
特定資産合計	43,868,893	43,862,171	6,722
(2) 有形固定資産			
建物	6,198,384	6,479,843	△ 281,459
什器備品	80,739	138,487	△ 57,748
土地	11,063,334	11,063,334	0
その他の固定資産合計	17,342,457	17,681,664	△ 339,207
固定資産合計	61,211,350	61,543,835	△ 332,485
資産合計	71,485,271	76,572,598	△ 5,087,327
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	931,705	872,204	59,501
前受会費	180,000	70,000	110,000
流動負債合計	1,111,705	942,204	169,501
2 固定負債			0
固定負債合計	0	0	0
負債合計	1,111,705	942,204	169,501
III 正味財産の部			
1 指定正味財産	2,343,744	2,343,159	585
(うち基本財産への充当額)	0	0	0
(うち特定資産への充当額)	2,343,744	2,343,159	585
2 一般正味財産	68,029,822	73,287,235	△ 5,257,413
(うち基本財産への充当額)	0	0	0
(うち特定資産への充当額)	43,868,893	43,862,171	6,722
正味財産合計	70,373,566	75,630,394	△ 5,256,828
負債及び正味財産合計	71,485,271	76,572,598	△ 5,087,327

監 査 報 告 書

会 長 平 野 五 十 男 殿

平成 28 年 4 月 29 日

公益社団法人 全国病院理学療法協会

監 事 大 塚 正 廣

監 事 菊 田 京 一

監 事 中 川 保



私たち監事は、平成 27 年 4 月 1 日から平成 28 年 3 月 31 日までの事業年度の理事の職務の執行を監査致しました。その方法及び結果について、次のとおり報告致します。

1. 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査致しました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討致しました。さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録について検討致しました。

2. 監査意見

(1) 事業報告等の監査結果

- 一、 事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二、 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。

平成 28 年度 役員職務分掌及び情報収集等に係る役割分担表

会 長 平野 五十男

厚労省・医師会関係全般・東洋療法研修試験財団・あはき等法推進協議会
葵税理士法人 財団の生涯研修に係る事務処理

副会長 柳澤 貞男 事務局長

諸会議の企画及び開催準備・運動療法機能訓練技能講習会・技能認定登録制度

副会長 三宅 健一郎 広報局長

広報の企画編集・諸会議の書記

常任理事 小川 嗣人 学術局長（理療出版部長）

日本理学療法学会・理療の企画編集

常任理事 佐藤 功 情報管理局长

会員登録業務全般・会計業務及び認定登録・制度に係る各種システム、並びに協会ホームページの運用管理 あはき等法推進協議会（あはき7団体）

理 事 小田木 宏江 財務局長

財務処理関連業務・葵税理士法人との財務処理

理 事 木村 重人 組織局長

会員管理 役員名簿の作成 管理・役員

理 事 丹羽 つとむ 保険局長

診療報酬・介護報酬に係る情報収集

理 事 津田 敏彦 学術局次長（教育・研究部長）

理学療法指導者講習会・研究資料の収集・協会蔵書の管理

理 事 可知 謙三 調査・組織充実部長

会員実態調査、北陸・中国・九州の組織充実

理 事 米谷 勝行 調査・組織充実部次長

会員実態調査、北海道・東北の組織充実

事務局

事務局次長 青柳 利之

公益社団法人推進部長 杉浦 幹雄

情報管理局 情報運用部長 三浦 政則

特殊出版担当・障害者団体関連情報全般 猪野塚 孝徳

監 事 大塚 正廣 菊田 京一 中川 保

相談役 倉石 健二 猪野塚 孝徳 大場 栄悦

委員会

表彰選考委員会 叙勲・褒章、及び記念事業等に係る表彰全般

委員長 倉石 健二

委員 平野 五十男 柳澤 貞男 三宅 健一郎

運動療法機能訓練技能講習会実行委員会

委員長 柳澤 貞男

委員 小川 嗣人 平野 五十男 三宅 健一郎 佐藤 功 木村 重人

技能認定登録制度委員会

委員長 柳澤 貞男

委員 小川 嗣人 平野 五十男 三宅 健一郎 佐藤 功 木村 重人

財務処理対策委員会

委員長 小田木 宏江

委員 小川 嗣人 佐藤 功 三浦 政則

役員改選管理委員会

委員長 大村 和司

委員 坂田 武 前川 良男

中央代議員選挙管理委員会

委員長 大村 和司

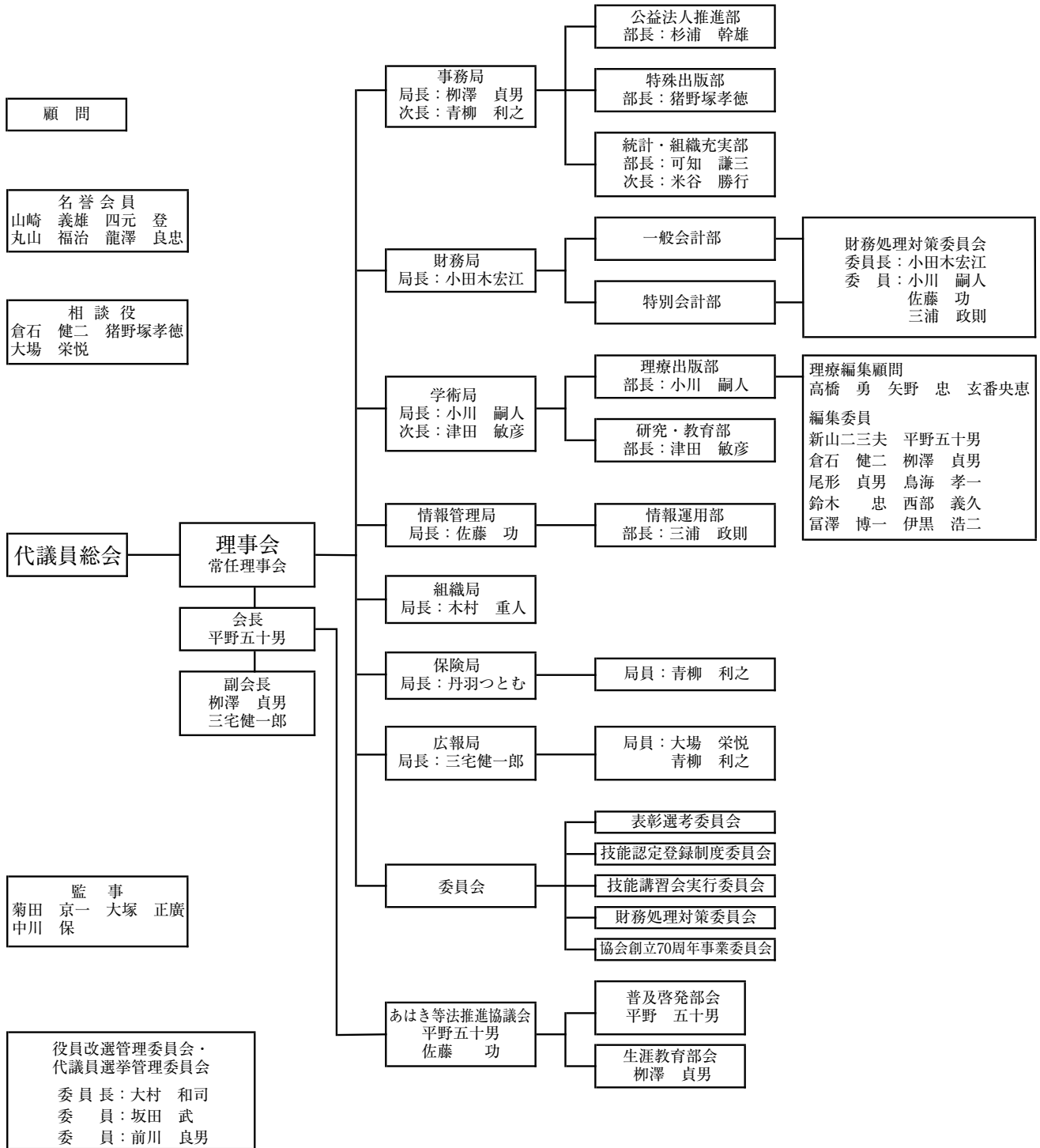
委員 坂田 武 前川 良男

協会創立 70 周年記念式典委員会

委員長 柳澤 貞男

委員 平野 五十男 三宅 健一郎 倉石 健二

平成 28 年度 公益社団法人 全国病院理学療法協会 組織機構



地方会執行委員長

北海道： 小路口 憲 東北： 菊池 武彦 関東甲信越： 杉浦 幹雄
中部： 加藤 尚浩 北陸： 蟹谷 泰郎 近畿： 町井 修治
中国： 川口 清宣 四国： 石川 啓一 九州： 西口 政男

平成 28 年度 協会主要会議及び地方学会等の年度計画表

年 月	常任理事会	理 事 会 等	監 査 会	学会・記念式典等
28年 4月			年度末監査 29日(水・祝)	
5月		地方会代表者会議 臨時理事会(2回) (27日)		第57回 定時代議員総会 27日(金) 第65回 日本理学療法学会28・29日 (静岡市) 理療177号発行
6月				12日 広報編集委員会
7月				広報225号発行
8月				理療178号発行
9月	第1回 常任理事会 11日(日)			
10月		第1回 理事会 16日(日)		第39回 理学療法指導者講習会 2日(日)東京都葛飾区 第57回 東北理学療法研修学会 29日(土)・30日(日)米沢市 広報226号発行
11月				第43回 中国・四国理学療法学会 5日(土)・6日(日)鳥取市 第54回 中部理学療法学会 26日(土)・27日(日)四日市市 理療179号発行
12月				広報227号発行
29年 1月				
2月	第2回 常任理事会 12日(日)			第24回 認定試験 12日(日) 理療180号発行
3月		第2回 理事会 5日(日)		広報228号発行
4月			年度末監査 29日(祝)	

※平成28年度 運動療法機能訓練技能講習会は、北海道・関東甲信越・中部・近畿地方会で開催予定

※葵税理士法人との財務処理を適宜開催する予定

※あはき等法推進協議会・東洋療法研修試験財団関連の会議は不定期に開催

諸会議及び役員渉外行動報告

月 日	用 務 地	用 務 内 容
4/8	協会事務所	第 66 回 学会企画書校正 (平野・柳澤)
10	協会事務所	第 65 回 学会抄録校正 (平野・柳澤・大河原・山崎)
10	日本鍼灸師会館	第 2 回 WFAS 運営委員会 (平野)
12	ツナビル	ニュー大崎管理組合理事会 (平野)
13	協会事務所	葵税理士財務処理 (平野・小田木・佐藤)
15	全鍼師会館	あはき等法推進協議会 (平野・三宅)
16	協会事務所	葵税理士法人財務作業 (平野・小田木・佐藤)
24	第一両国ホテル	杉山和一記念館落成祝賀会 (平野・龍澤)
25	厚生労働省 医事課	平成 27 年度 運動療法機能訓練技能講習会 終了報告 (平野)
29	協会事務所	平成 27 年度 監査会 (大塚・菊田・中川・平野・柳澤・三宅・小田木)
5/2	厚生労働省 医事課	第 65 回 日本理学療法学会 祝辞拝受のお願い (平野)
3	協会事務所	理療編集会議 (小川・新山)
5	協会事務所	財務処理連絡会 (佐藤・山下)
7	協会事務所	定時代議員総会討議資料発送作業 (平野・柳澤)
9	協会事務所	保険局 事業報告に係る打合せ (平野・青柳)
10	ツナビル	ニュー大崎管理組合理事会 (平野)
11	厚生労働省 医事課	あはき法制定 70 周年記念事業について (平野)
14	東京医療専門学校	生涯教育部会 (柳澤)
21	協会事務所	財務処理 (小田木・佐藤)
24	南部労政会館	大崎西口駅前地区市街地再開発 第 2 回 勉強会 (平野)
27	静岡市東部勤労者福祉センター (清水テルサ)	平成 28 年度 地方会代表者会議 第 57 回 定時代議員総会
28・29	静岡市清水文化会館 (マリナート)	第 65 回 日本理学療法学会
6/4	協会事務所	葵税理士法人財務処理 (平野・小田木)
7	品川都税事務所	納税証明書申請 (平野)
7	法務局 (品川区役所)	役員改選に係る法人登記申請 (平野)
7	品川税務署	納税証明書申請 (平野)
8	東洋療法研修試験財団	平成 28 年度 評議員会 (平野)
9	法務局 (品川区役所)	法人登記申請書 修正 (平野)
10	厚生労働省 医事課	平成 28 年度 技能講習会後援名義申請 (平野)
12	協会事務所	広報 225 号 編集委員会 (平野・三宅・青柳)
14	ツナビル	ニュー大崎管理組合理事会 (平野)
16	法務局 (品川区役所)	履歴事項全部証明書申請 (平野)
16	協会事務所	単位取得講習会事務処理 (柳澤)
18	協会事務所	葵税理士財務処理 (平野・佐藤・小田木)
19	江島杉山神社	平成 27 年度 杉山檢校遺徳顕彰会評議員会 (平野・龍澤)
27	厚生労働省 医事課	叙勲・褒章に係る指導、及び創立70周年記念式典に係る大臣表彰のお願い (平野)

本部発信文書一覧

月日	文書番号	宛先	文書名
4/1	1	理事・役員	第57回 定時代議員総会等に係る文書の発送について
1	2	役員・代議員	第57回 定時代議員総会等に係る文書の送付について
1	事務連絡	理事会構成員	代議員総会前夜の夕食会について
1	3	地方会執行委員長	第57回 定時代議員総会開催通知
1	4	理事・役員	地方会代表者会議 開催通知
1	5	施設長	第65回 日本理学療法学会 出張許可願い
6	6	監査会 関係各位	平成27年度 監査のお願い
6	7	地方会執行委員長	平成28年度 役員名簿提出及び会員名簿確認のお願い
6	8	地方会執行委員長	地方会代表者会議 開催通知
6	10	地方会執行委員長	財団共催の生涯研修会開催に係るお願い
7	9	特別講演 講師各位	第65回 日本理学療法学会 講師依頼のお願い(6名)
8	事務連絡	名誉会員 各位	第65回 日本理学療法学会に関するご案内
11	11	支部執行委員長	東洋療法研修試験財団に係る申請書について
11	12	支部長 各位	技能認定登録制度に係る登録の更新について
15	事務連絡	東北学会準備委員長	履歴事項全部証明書の送付について
18	13	執行委員長 財務担当	平成28年度 交付金等スケジュールについて
25	14	厚生労働事務次官	平成27年度 運動療法機能訓練技能講習会終了報告書について(報告)
26	事務連絡	代議員 各位	第67回 定時代議員総会 出席旅費の申請・精算について
29	17	理事 各位	平成27年度 事業報告・平成27年度決算書及び監査報告の書面表決について
29	18	理事 各位	開票立会人、並びに地方会執行委員長の承認について
5/2	15	厚生労働省医事課長	第65回 日本理学療法学会へのご祝辞拝受について
7	19	代議員・地方会執行委員長	第57回 定時代議員総会の討議資料の送付について
9	16	関係団体 各位	第65回 日本理学療法学会へのご祝辞拝受について
10	事務連絡	国際医学情報センター	「日本理学療法学会プログラム・抄録集」の送付について
10	事務連絡	支部・地方会執行委員長	平成27年度 決算ファイルの送付について
16	事務連絡	学会表彰者 各位	表彰について(4名)
19	20	支部執行委員長	役員名簿及び会員名簿確認作業について(お礼)
21	事務連絡	国立国会図書館	「日本理学療法学会プログラム・抄録集」の送付について
6/1	21	ジャパンティッシュ エンジニアリング	文献論文購入についてのご案内
3	22	会費未納者各位	会費督促状
9	23	厚生労働事務次官	平成28年度 運動療法機能訓練技能講習会後援名義使用のお願い
9	24	関係団体	平成28年度 運動療法機能訓練技能講習会の後援名義使用のお願い
13	25	東京慈恵医科大学附属第三病院 院長 中村啓	第39回 理学療法指導者講習会 講師依頼のお願い
16	26	日本医科学総合学院	協賛会費の納入のお願い
16	27	東洋療法研修試験財団	平成27年度 財団生涯研修会終了報告・28年度生涯研修開催届
17	28	役員 支部長	平成28年度 役員名簿の送付について
18	事務連絡	支部長・地方会執行委員長	会計ファイルの送付について
20	29	支部長 各位	平成27年度 「承認単位通知書」の送付について
20	30	東洋療法研修試験財団	財団共催研修会開催申請書について
21	31	支部長・地方会執行委員長	第39回 理学療法指導者講習会の受講者推薦について(依頼)

第 66 回 日本理学療法学会開催案内

テーマ 「超高齢社会とのかかわりかた」－総合医療・介護の現状と方向性－
会 期 平成 29 年 5 月 19 日（金）～5 月 21 日（日）
会 場 千里ライフサイエンスセンター（山村雄一記念ライフホール）他
〒 560-0082 大阪府豊中市新千里東町 1 - 4 - 2 TEL 06-6873-2071
参加費 会 員 8,000 円（事前登録） / 10,000 円（当日登録）
会員外 15,000 円 学 生 4,000 円

内 容

○特別講演

1. 「生活習慣病に対する鍼灸の現状と方向性」（仮）

講 師 明治国際医療大学 鍼灸学部鍼灸学科 特任教授 矢野 忠 先生

2. 「地域包括ケアシステムの現状と課題」

— 医療・介護・福祉とのかかわりかた — 講 師 <折衝中>

○分 科 会 予 定

○市民公開講座「認知症」（仮）

講 師 むいメンタルクリニック 院長 撫井 弘二 先生（予定）

○会員発表 50 題（予定）

○展 示 会 最新の医療機器、介護用品関連機器、書籍等の展示・販売を予定

主 催 公益社団法人全国病院理学療法協会

担 当 近畿地方会

演題募集要項

1. 演 題 : 自由演題（未発表のもの）
2. 発表時間 : 7 分以内
3. 抄 録 : 抄録原稿は A 4 判にて横書き 800 字以内でお願い
4. 締 切 日 : 演題申込 平成 28 年 11 月 20 日

※詳細は協会ホームページに掲載

学 会 事 務 局 〒 564-0053 大阪府吹田市江の木町 7 番 1 号

甲聖会記念病院 リハビリテーション科 野 山 隆 司

TEL 06-6380-0666 FAX 06-6380-0736

E-mail gakkai66@outlook.jp

※お問い合わせ等は、業務の都合上、出来るだけ F A X または E メールでお願い致します。

平成 28 年度 認定訪問マッサージ師講習会開催のご案内

- 主催： マッサージ師等将来研究会 生涯教育部会
- 日時： I 基礎
平成 28 年 11 月 26 日（土） 12：00～17：35
11 月 27 日（日） 9：00～15：15
- II 実技
平成 29 年 2 月 4 日（土） 10：30～18：00
2 月 5 日（日） 8：50～16：10
- 会場： 東京医療福祉専門学校
住所：東京都中央区八丁堀 1 - 11 - 11
連絡先：03 - 3551 - 5751（当日のみ）
- 講習内容： 基礎講義 14 単位 実技講習 16 単位
- 受講料： 加盟団体会員 4 万円 非会員 8 万円
- 定員： 100 名（東 80 名以下の場合は中止とし、100 名以上の場合は抽選とする）
- 募集期間： 平成 28 年 7 月 20 日（9：00）～平成 28 年 8 月 19 日（17：00）
- 認定証の交付： 全単位を取得し、課題（3 症例）を提出し、審査に合格した者に「認定証」を交付する。なお、関係団体の会員には携帯用認定証も作製する。
- 受講申し込み： 受講申込書に必要事項を記入し、下記講習会事務局に直接送付してください。受講が決定された方には、事務局より「受講票」が郵送されますので、必要事項を記入のうえ、受講料を納入した銀行振り込みの控えのコピーを受講票裏面に全面貼付し、下記事務局までお送りください。
なお、抽選にもれた方にはその旨を通知させていただきます。
* 抽選結果は9月末までにはお知らせいたしますのでよろしくお願い致します。
- 〒360-0012
埼玉県熊谷市上之1777-4
（公社）埼玉県鍼灸マッサージ師会「認定訪問マッサージ師事務局」宛
TEL：070-6454-9541（PHS）
FAX：048-525-3231
メールアドレス：ninteihoumon@saitama-sams.or.jp
- 問い合わせ： 柳澤 貞男 080-3387-5128

マッサージ等将来研究会 平成28年度 認定訪問マッサージ師講習会 受講申込書

※太枠内を必ずご本人が楷書で書いてください。（視覚障害のある方は代筆可能です）

所属団体の有無 1. 有 2. 無		所属団体名																
氏 名	フリガナ												生年月日					
													昭 平	年	月	日		
現 住 所	〒																	
	電話番号					-							-					
	携帯番号					-								-				
メールアドレス																		
勤務先又は施術所	フリガナ											勤務先部署等						
	名称																	
	〒																	
	電話番号						-								-			
携帯番号						-								-				
受講の可否などの 送付先、連絡先 核当する番号に○印 3の場合のみ記入	1. 現住所 2. 勤務先・施術所 3. その他（以下に記入）																	
	〒																	
	電話番号						-								-			

どなたかのご紹介ですか	1. はい（以下に記入してください）	2. いいえ
紹介者氏名		
紹介者所属団体		
受講時期	第 回受講者	または 平成 年4月認定者

- * 個人情報は認定制度運用以外の目的に使用いたしません。
- * 定員100名を超えた申込みがあった場合は、厳正な抽選を行います。

発行人 公益社団法人 全国病院理学療法協会

〒141-0032 東京都品川区大崎3-6-21
ニュー大崎 318号

TEL 03(3494)1948

FAX 03(3494)1950

ホームページアドレス <http://nhpta.net>

発行責任者 平野 五十男

編集責任者 三宅 健一郎